

アメリカにおけるバースツーリズムー性別選好を中心にー

Birth Tourism in United States of America: The Issue of Sex Preference

梁 凌詩ナンシー (東洋大学アジア文化研究所)

LEUNG Ling Sze Nancy (Asian Cultures Research Institute TOYO University)

nancyllsleung@hotmail.com

バースツーリズム(birth tourism)は出生地主義(jus soli)を採用する国に子どもを出産しに行くことを指す。出生地主義とは、出生による国籍を取得することである。言い換えると、血統、両親の国籍を問わず、子どもの出生地である国の国籍を与えることである。つまり、子どもに出生地主義を採用する国の国籍を与えさせることがバースツーリズムの誘因である。出生地主義を採用している国々の中で、アメリカが最もバースツーリズム人気ある目的地である。

アメリカは1868年7月9日アメリカ合衆国憲法修正第14条の実施と共に出生地主義を採用し始めた。21世紀からアメリカ社会はバースツーリズムを注目し始めたが、バースツーリズムのような外国人からの越境出産が1980年代にもあった。それはベトナム戦争以降、紛争や圧政の原因で小船に乗り、外国に逃げ出したベトナムボートピープル(Vietnamese boat people)のアンカー・ベイビーである。アンカー・ベイビーはアメリカに不法入国したベトナムボートピープルがアメリカで生んだ子どもを指す。出生によるアメリカ国籍を取得した子どもが船のアンカーのように家族をアメリカに移住する機会を設けたため、アンカー・ベイビーと名付けた。しかし、バースツーリズムはアンカー・ベイビーと異なり、バースツーリスト(birth tourist)が合法的にアメリカに入国し、医療費を払ったうえに、アメリカで子どもを出産する。

アメリカでバースツーリズムを行う人は多様である。アメリカの移民研究センター(Center for Immigration Studies)のフィーレによれば、年間約3万6千バースツーリストがアメリカで子どもを産み、彼らが主に中国及び台湾、韓国、ナイジェリア、トルコ、ロシア、ブラジル、メキシコから来た人々である [Feere, 2015]。アメリカで子どもを出産する理由について、子どもにアメリカ国籍を与える以外の理由があると考えられる。アメリカと似ているバースツーリズムを直面している香港の場合では、男児を出産することは中国本土住民が香港で子どもを出産する理由の一つである [梁, 2015, p. 175]。この研究はアメリカ疾病管理予防センター(Centers for Disease Control and Prevention)が公表しているアメリカ合衆国本土(contiguous United States)の出生データ(2012-2016)を用い、アメリカにおけるバースツーリズムの特徴及び、性別選好の傾向があるかどうかについて分析を行った。

出生データに基づいて、2012年から2016年まで、アメリカ本土で非住民である外国人からの出産数が8583人(2012年)から10237人(2016年)まで増加した(図1)。先行研究では年間約3万6千バースツーリストがアメリカで子どもを産む予測と異なっている。出生データでは母親及び父親の国籍を示していないが、人種を記載している。人種からみると、2012年から2016年までバースツーリストが主に白人である(2012年773人、2016

年 7807 人)。その次は黒人である (2012 年 15 人、2016 年 527 人)。母親及び父親とも中国人である場合、2012 年 4 人から 2016 年 200 人まで増加した。白人のバースツリーストにおいて、母親及び父親ともメキシコ人ヒスパニックである場合、2012 年が 90.2%であり、2016 年が 85.2%である。つまり、バースツリーストが主にメキシコ人である。ところが、白人バースツリーストにおけるメキシコ人の割合が減少しているため、メキシコ人ではない白人バースツリーストが増加したと考えられる。

出生時性比について、2012 年子どもの両親とも白人である場合、出生時性比が 105.5 である。2012 年の時点で、他の人種の出生数が少ないため、出生時性比の特徴をみることができない。しかし、2016 年の場合、両親とも白人である出生時性比が 104.5 であり、両親とも黒人である場合、113.3 であり、両親とも中国人である場合、146.9 であり、両親ともアジア系インド人である場合、142.9 である (表 1)。つまり、アメリカにおけるバースツリズムでは性別選好が存在している。しかも、男児選好が中国人バースツリーストのみならず、黒人、アジア系インド人にも男児選好の傾向があることを明らかにした。

図 1 アメリカにおける非居住者外国人からの出生数 (2012 年-2016 年)

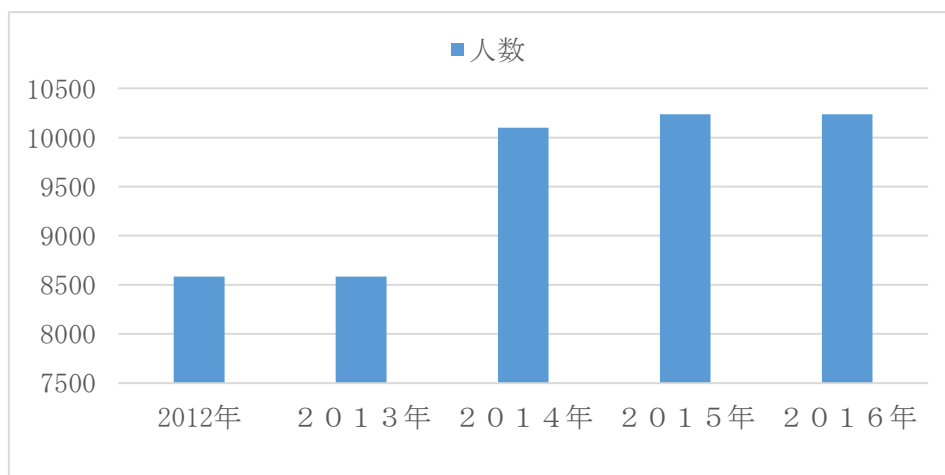


表 1 2016 年における非居住者外国人種別出生時性比

人種	男性	女性	出生時性比
白人	3991	3816	104.5
黒人	280	247	113.3
中国人	119	81	146.9
アジア系インド人	50	35	142.9

すべての図表は筆者がアメリカの出生データによる作成。

引用文献：

Feere, Jon., 2015. *Birth Tourists Come from Around the Globe*. [オンライン]

アクセス：<https://cis.org/Feere/Birth-Tourists-Come-Around-Globe>,

アクセス日：2018 年 3 月 20 日。

梁, 凌詩ナンシー., 2015. 『香港における少子化—永住者、「越境家族」、「越境出産」をめぐる課題及び展望—』, 立命館大学国際関係研究科。